

中部地区 流域治水協議会

公表資料

大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

○令和元年東日本台風をはじめ、平成30年7月豪雨など全国的に近年激甚な水害が頻発していることを踏まえ、中部地区においても**平成9年、平成23年、平成29年と度重なる豪雨災害・台風被害を受けている**ことから、事前防災対策を進める必要があるため、**あらゆる関係者（国、都道府県、市町村、住民等）**の取り組みを連動させ、既往出水と同規模程度の洪水を安全に流下させるなど、**中部地区における浸水被害の軽減**を図る。

臼杵川 浸水状況（H9.9）



臼杵川 被災状況（H23.9）



熊崎川 浸水状況（H23.9）



津久見市

臼杵川水系

津久見川水系

津久見川 浸水状況（H29.10）



被災状況（H29.10）



凡例

- : 二級水系 整備計画策定済
- : 市町境
- : 中部地区流域治水協議会

大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

- 〇 : 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- △ : 被害対象を減少させるための対策
- : 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



臼杵市:防災教育

【大分県、臼杵市】
中ノ川ダム洪水調整機能強化、事前放流

【大分県、臼杵市】
末広ダム洪水調整機能強化
事前放流

【大分県】
熊崎川 護岸整備
河道掘削 等

【臼杵市】
下水道等の排水施設の整備

【大分県】
青江ダム洪水調整機能強化

【大分県】
臼杵川 護岸整備
河道掘削

【大分県】
・中小河川等における避難行動支援の充実
・マイタイムラインの活用促進
・防災教育等の実施

【大分県気象台】
・線状降水帯による豪雨に対する情報提供の改善
・地域における気象防災業務の強化
・防災気象情報の理解・活用のための実践的な研修
訓練等の実施

【津久見市】
・総合防災マップの作成
・個別避難計画の作成促進
・防災教育、避難訓練等の実施・支援
・避難路整備

【臼杵市】
・防災教育、避難訓練等の実施・支援
・防災マップ作成
・アプリ、SNS等を活用した防災情報の配信

【津久見市】
・立地適正化計画の策定

【臼杵市】
・立地適正化計画の策定

【大分県、臼杵市】
乙見ダム洪水調整機能強化
事前放流

【大分県、臼杵市】
野田ダム洪水調整機能強化

【大分県】
津久見川 護岸整備、橋梁架替 等
彦の内川 護岸整備、橋梁架替 等



大分県:津久見川護岸整備



津久見市:避難訓練



臼杵市:水防訓練

【津久見市】
西ノ内川 樹木伐採
大久保川 護岸改修
弁治川 護岸改修
屋敷川 河道整備
下道畑川 護岸改修
縄代川 護岸改修

【森林整備センター】
・水源林造成事業による森林の整備・保全(19箇所)

【大分県】
・砂防堰堤の整備(16箇所): ▼
・急傾斜地崩壊対策施設の整備(27箇所): ~
・森林整備・治山対策(15箇所)
・水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発
・防災重点ため池の耐震化・洪水調節機能の強化(R6:46箇所)

【臼杵市】
・農業用ダムにおける貯留水の事前放流
・下水道等排水施設の整備

大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための 対策	洪水氾濫対策	護岸整備、河道掘削	大分県			
		河道整備、河道掘削、樹木伐採	津久見市			
	流水の貯留 機能の拡大	既存ダムの洪水調節機能の強化	大分県、臼杵市			
		水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発 防災重点ため池の耐震化・洪水調整津機能の強化	大分県			
	内水氾濫対策	下水道等の排水施設の整備	臼杵市			
	土砂災害対策	砂防堰堤の整備 急傾斜地崩壊対策施設の整備	大分県			
		森林整備、治山整備	大分県、大分森林管理署、 森林整備センター			
		水源林造成事業による整備・保全	森林整備センター			
被害対象を減少さ せるための対策	水災害ハザードエリアにおける 土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定	臼杵市、津久見市 (大分県)			
被害の軽減、 早期復旧・復興の ための対策	防災気象情報の改善	線状降水帯による豪雨に対する情報提供の改善	大分地方気象台			
	土地の水災害リスク情報の充実	中小河川等における避難行動支援の充実	大分県			
		ため池ハザードマップの作成支援、水位計・監視カメラの設置	大分県			
		アプリ、SNS等を活用した防災情報の配信	臼杵市			
	避難体制等の強化・防災啓発活動	地域における気象防災業務の強化	大分地方気象台			
		防災気象情報の理解・活用のための実践的な研修訓練等の実施	大分地方気象台			
		マイタイムラインの活用促進	大分県、臼杵市、津久見市			
		防災教育、避難訓練の実施・支援	大分県、臼杵市、津久見市			
		内水ハザードマップの公表、内水対策の検討	津久見市			

中部地区における対策内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【大分県(臼杵土木)】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

臼杵川浸水写真(H9年9月)



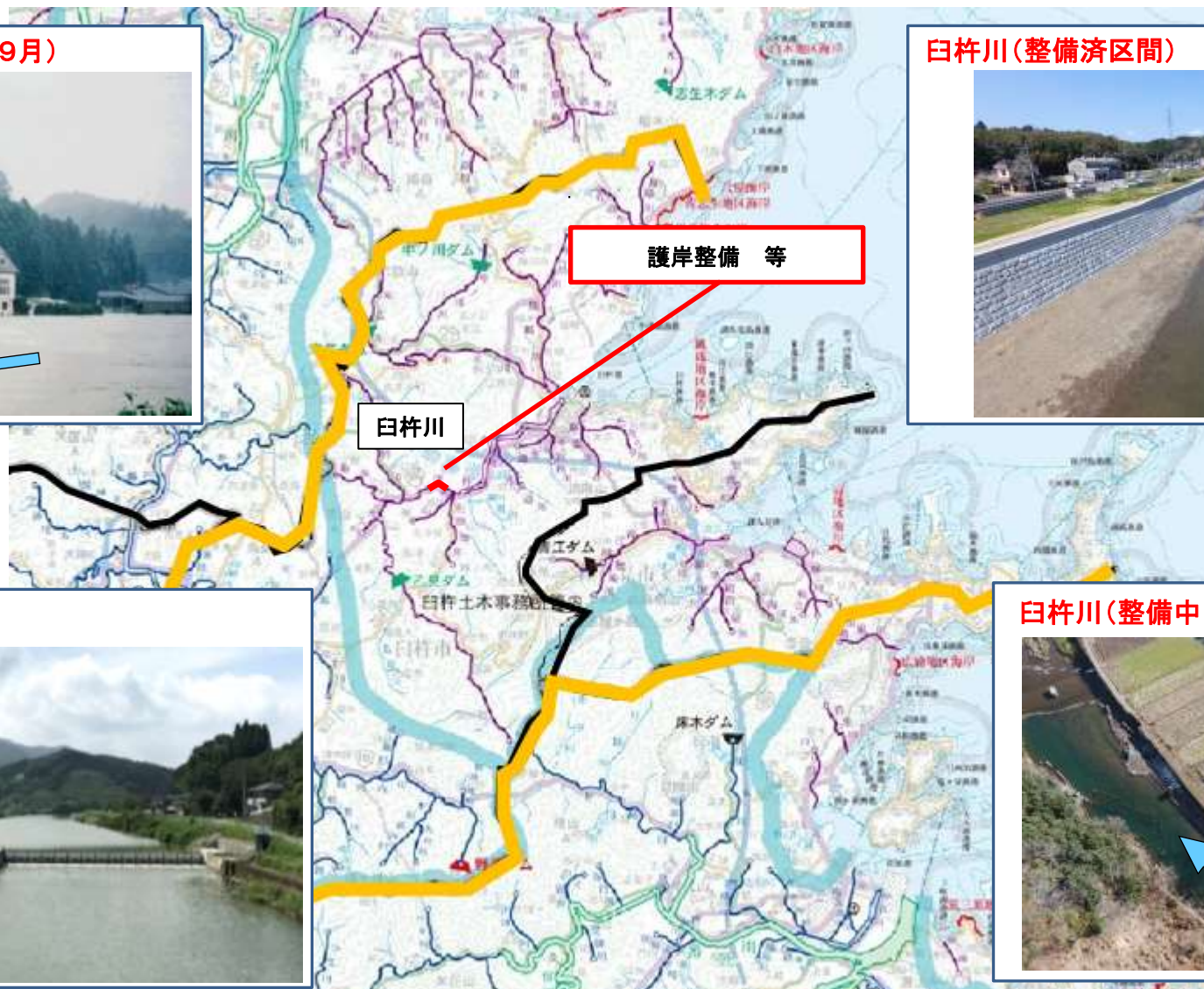
臼杵川(整備済区間)



臼杵川(整備済区間)



臼杵川(整備中區間)



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	護岸整備、河道掘削	大分県			

【大分県(臼杵土木)】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

熊崎川浸水写真(H23年9月)



熊崎川(整備中写真)



熊崎川(整備済区間)



熊崎川(今後整備区間)



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	護岸整備、河道掘削	大分県			

【大分県(臼杵土木)】大分県中部地区流域治水プロジェクト
～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

津久見川浸水写真(H29年9月)



JR津久見駅付近(H29年9月)

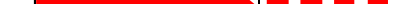
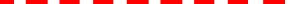


津久見川(整備済)



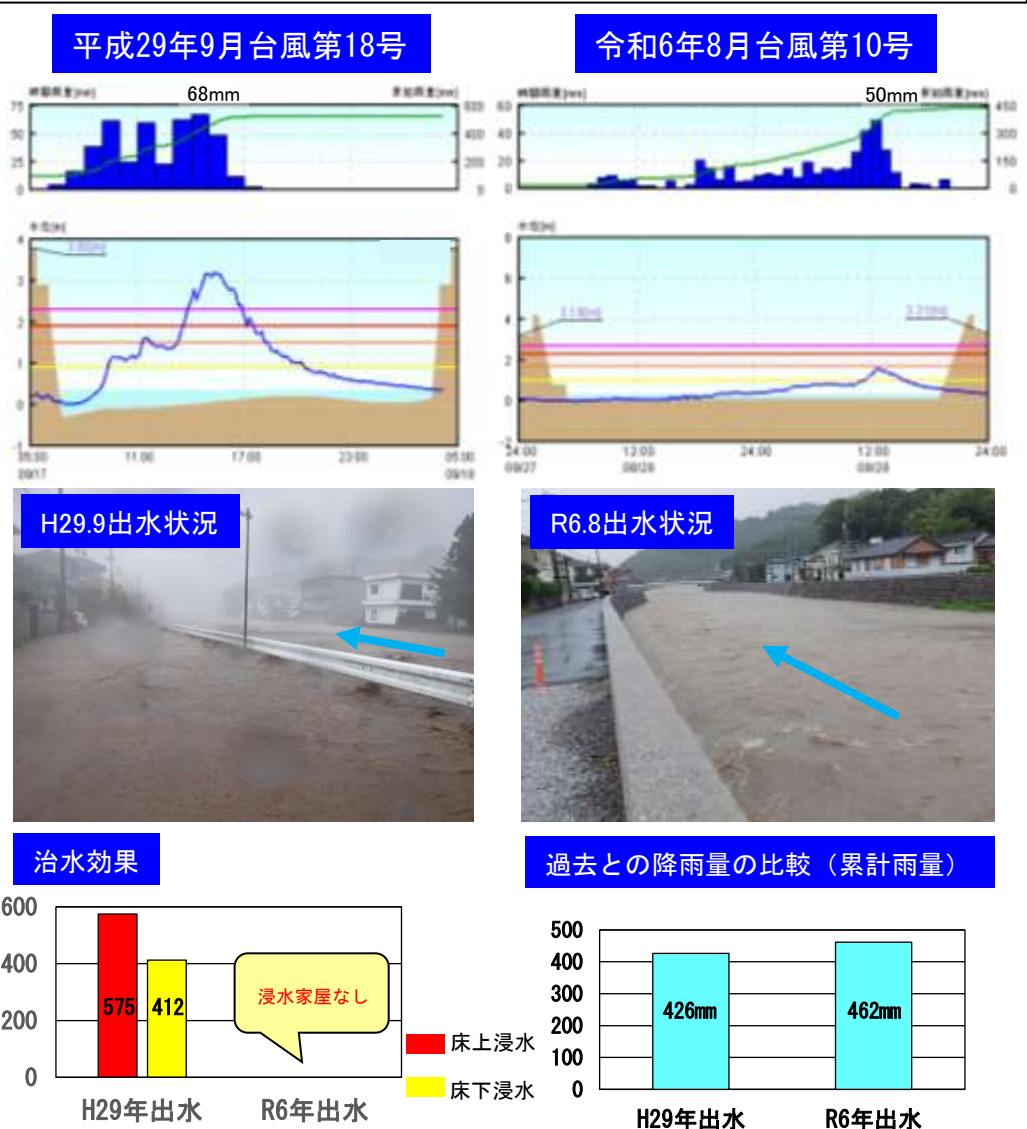
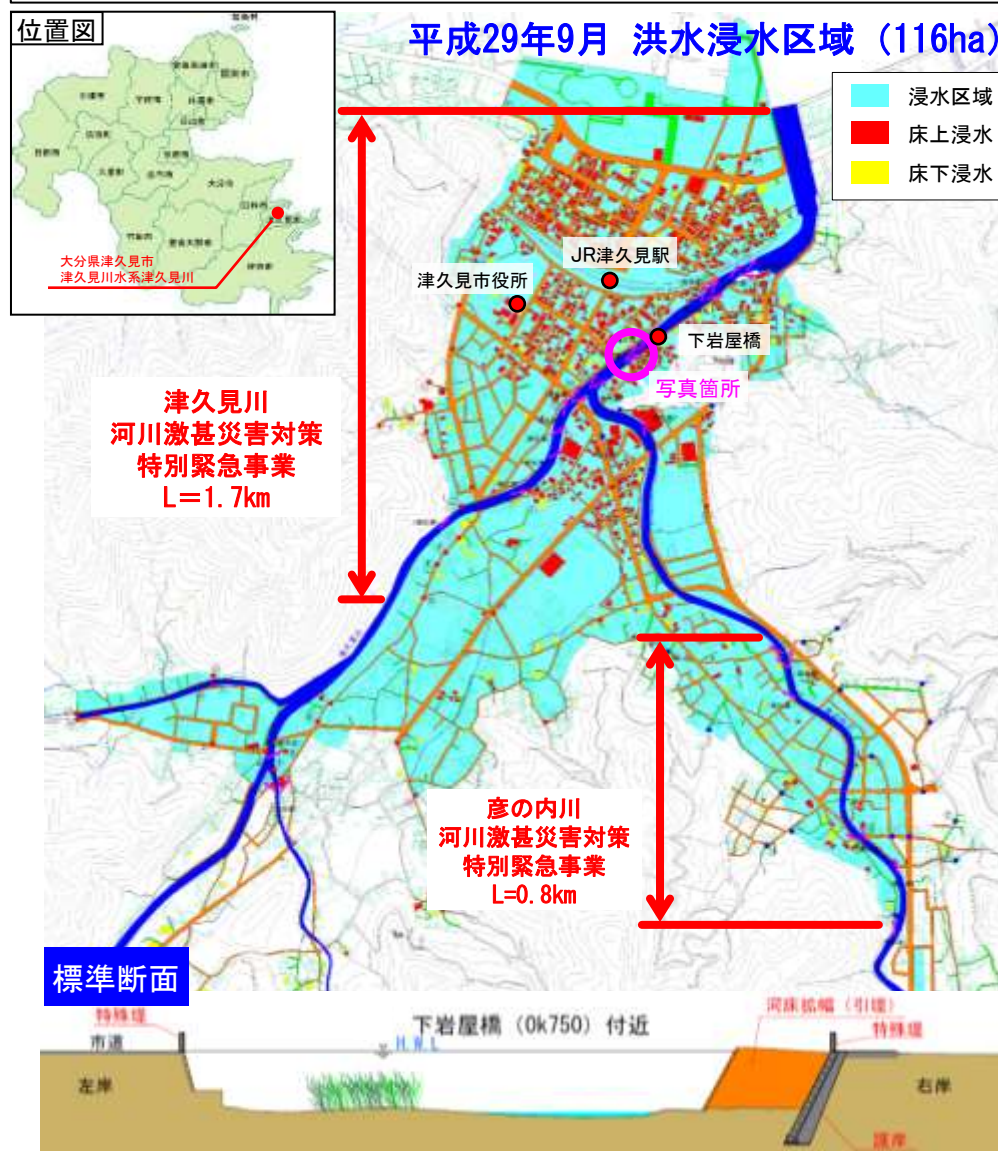
津久見川(整備済)



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	護岸整備、河道掘削	大分県			

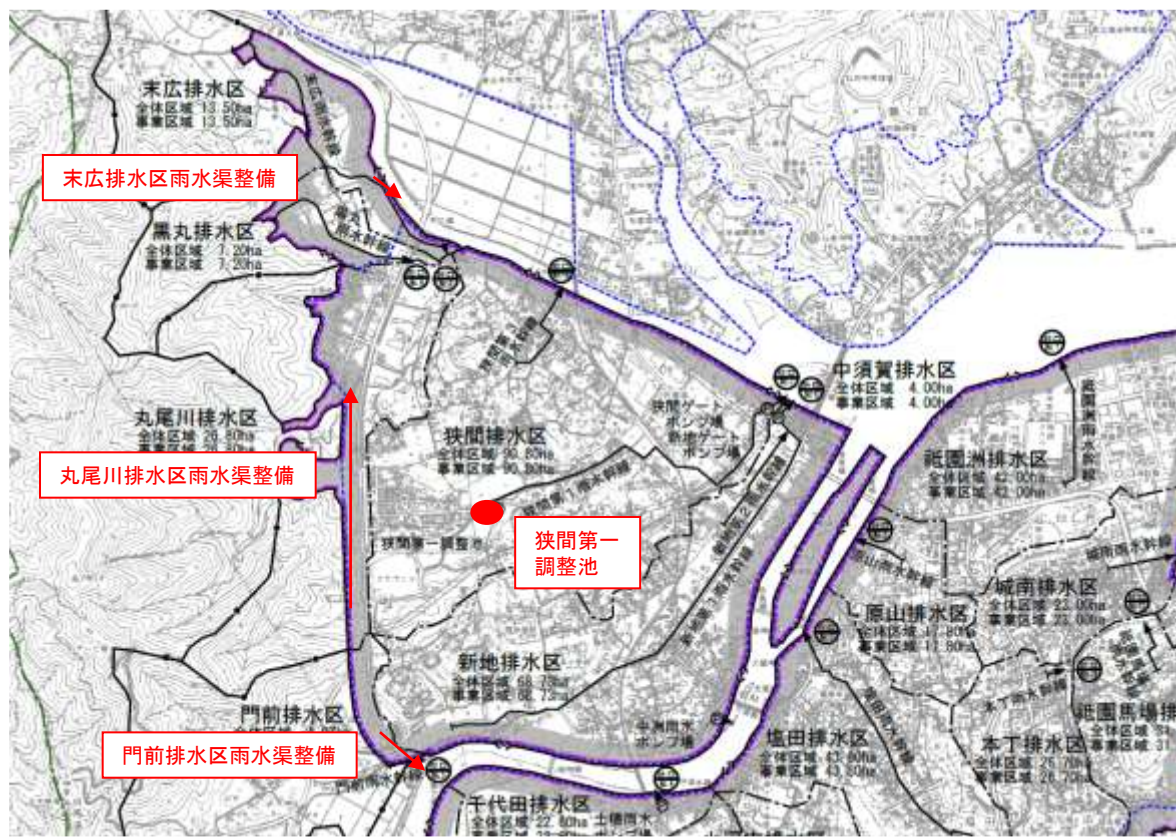
確報版【R6. 8台風第10号】河川改修による治水効果（津久見川）

- 津久見川（大分県津久見市）では、平成29年9月の台風第18号において床上575戸、床下412戸の家屋浸水被害が発生
- 河川激甚災害対策特別緊急事業を実施し、5か年加速化対策も活用して集中的に治水対策を推進して令和5年9月に完了
- 今回の出水（令和6年8月の台風第10号）では、平成29年台風第18号を上回る総雨量を記録したが、治水対策による水位低下により、家屋浸水は解消



【臼杵市】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～



平成30年9月(台風24号)



狭間排水区



新地排水区

臼杵市では浸水被害の大きい地区から内水被害対策事業を実施しており、令和4年度に狭間第一調整池が完成しました。令和5年度から、丸尾川排水区雨水渠整備工事に着手し、令和6年度は末広排水区雨水渠整備の事業認可変更、雨水管理総合計画のうち、雨水管理方針を策定しました。令和7年度は、引き続き丸尾川排水区雨水渠整備工事を行いながら、末広排水区雨水渠整備工事に着手します。また、雨水管理方針において、整備優先順位が高いと位置づけられた、狭間・新地排水区の段階的対策計画(当面、中期、長期)を策定します。

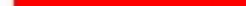
区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水氾濫対策	下水道等の排水施設の整備	臼杵市		                     	

【津久見市】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～【令和6年度実績】

■過去に発生した出水による対策として屋敷川の河道掘削、下道畑川及び網代川においては護岸改修を実施し、河道の流下能力維持向上が図られた。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	樹木伐採・護岸改修	津久見市		   	   

【津久見市】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～【令和7年度計画】

■過去に発生した出水による対策として釜戸東川の河道掘削、釜戸川及び瀬戸石川、下道畑川においては護岸改修を実施し、河道の流下能力維持向上を図る。



①河道掘削

釜戸東川



②護岸改修

釜戸川



③河床改修

瀬戸石川



④護岸改修

下道畑川



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対	洪水氾濫対策	河道掘削・護岸改修	津久見市	短期	中期	中長期

【大分県(河川課)】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

■既存ダムの洪水調節機能の強化

- ダムによる洪水調節は、下流の全川にわたって水位を低下させ、堤防の決壊リスクを低減させるのに加え、内水被害等を軽減する有効な治水対策である。
- 末広川水系、臼杵川水系及び青江川水系において、緊急時に既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用できるよう、事前放流の実施等についてダムの管理者及び関係利水者と治水協定を令和3年3月30日締結。

【治水協定締結者】

大分県土木建築部、大分県農林水産部、臼杵市

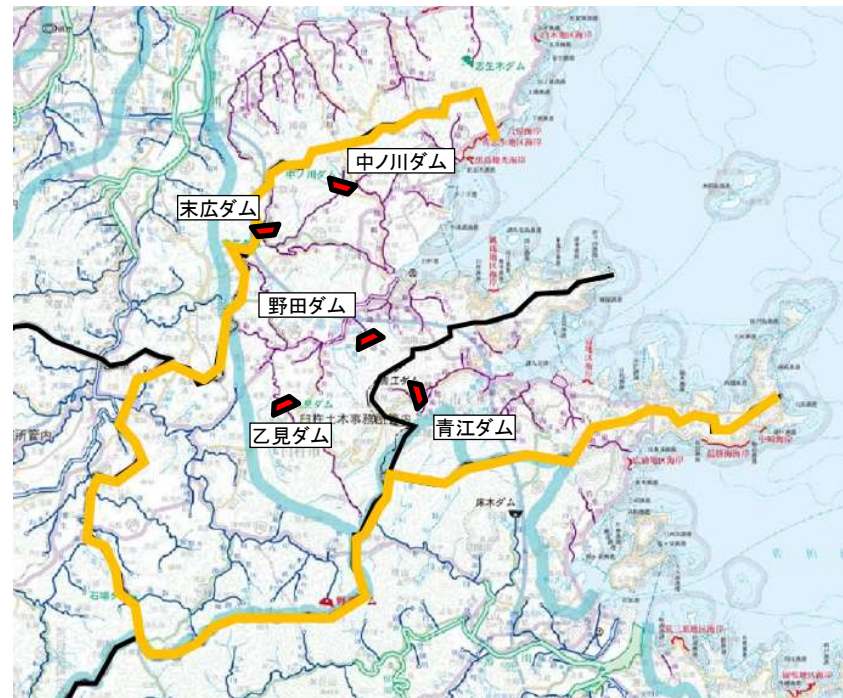
ダム名	有効貯水容量 (万m3)	洪水調節容量 (万m3)※1	洪水調節可能 容量(万m3)	水害対策に使える 容量(万m3)
末広ダム	196.7	164.0	7.0	171.0
中ノ川ダム	82.3	52.1	6.7	58.8
乙見ダム	169.7	129.7	7.0	136.7
野田ダム	40.4	30.5	1.2	31.7
青江ダム	1380.0	105.0	10.7	115.7
合 計	1869.1	481.3	32.6	513.9

※1 水利用への補給を行う可能性が低い期間等において水位を低下させた状態とする。
貯水池運用を行うことにより確保可能な容量を含む

○水害対策に使える容量(ダム)

・協定前：約481万m³→協定後：約514万m³

約33万m³の増加



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流水の貯留機能の拡大	既存ダムの洪水調節機能の強化	大分県、臼杵市			

【大分県(砂防課)】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

■砂防対策【砂防堰堤、急傾斜地崩壊対策施設の整備】

<凡例>

- ▼ 砂防堰堤等の整備 16箇所
- 〰 急傾斜地崩壊対策施設の整備 27箇所

※整備済は黒表示

【急傾斜】2号深江地区(令和6年度整備)

対策前

対策後

急傾斜地崩壊対策施設の整備

砂防堰堤の整備		急傾斜地崩壊対策施設の整備	
奥園川	2号深江地区	家野地区	
福良川	双葉南地区	栗林地区	
迫ノ奥川	栃原地区	平岡地区	
井無田川2	上宮本南地区	浦代南地区	
日見川2	津久見浦地区	田中地区	
高浜川	徳浦宮町地区	警固屋南地区	
網代川2	徳浦本町地区	道尾地区	
鳩浦川1	彦之内地区	北海添地区	
風成川2	福良西地区	大野地区	
徳浦宮川1	2号海添地区	田尾地区	
鬼丸川6	鬼丸地区	網代3A地区	
長幸川	通地区	大泊地区	
門前川	西福良2地区	徳野地区	
須久保川二支溪	中田2地区		
江無田川3			
丸尾川3			

▼高浜川

【砂防】日見川2

砂防設備の整備

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	砂防堰堤の整備 急傾斜地崩壊対策施設の整備	大分県			

【大分県(農地・農村整備課)】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

(氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)

■農地・農業水利施設を活用した流域の防災・減災の推進

【防災重点農業用ため池の耐震化・洪水調節機能の強化】

- ・R6は県内52箇所について、堤体の耐震化を行い、農業用ため池が有する洪水調節機能の強化を行った
- ・R7は県内55箇所の予定



整備前

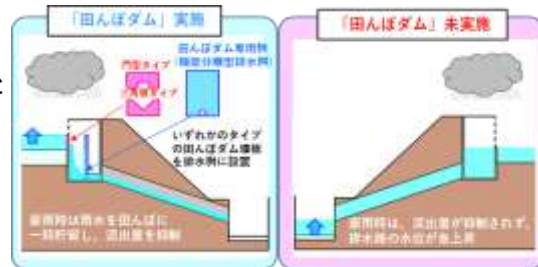


整備後

【水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発】

R 6 取組状況

- ・県内13市町28地区で実施
- ・田んぼダム推進部会において今後10年間の県全体の推進方針及び取組目標面積を決定(A=3,000ha)
- ・振興局単位で設置したワーキンググループにおいて地域へ意向確認を行い、市町毎に推進計画を作成



R 7 取組内容

- ・振興局単位で現地研修会を開催するなど、引き続き取組面積の拡大を図る。

■流水の貯留機能の拡大

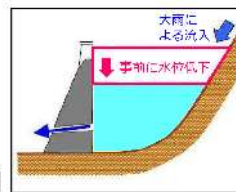
【農業用ダム・ため池の事前放流】

- ・農業用ダムの事前放流による治水活用
⇒ 県内 25 ダム (中部地区流域 4 ダム (乙見・中ノ川・末広・野田))
- ・ため池の事前放流による治水活用
⇒ 県内 1, 021 箇所のため池管理者に対し、事前放流の取り組みを推進

農業用ダムの活用

- 大雨が予想される際にあらかじめ水位を下げることで洪水調節機能を発揮。
- 降雨をダムに貯留し、下流域の氾濫被害リスクを低減。

【各地区の状況に応じて、放流水を地内への浸透池等に貯留】



ため池の活用

- 大雨が予想される際にあらかじめ水位を下げることで洪水調節機能を発揮。



- 農業用水の貯留に影響のない範囲で、洪水時にスリット(切り欠き)を設けて貯水位を低下させ、洪水調節量を確保。



(被害の軽減、早期復旧・復興のための対策)

■水害リスク情報の提供・充実

【ため池ハザードマップ作成支援】

- ・大分県がR2までに作成した浸水想定区域図をもとに、各市町村において、ため池ハザードマップを作成
- ・ハザードマップ作成が必要な1, 013箇所(廃止予定除く)のすべてをR4までに作成済。

【ため池への水位計・監視カメラの設置】

- ・ため池に水位計・監視カメラを設置し、豪雨時の適切な避難行動に備える
- ・R4は県内24箇所、R5は県内21箇所、R6は32箇所設置
- ・R7は県内約20箇所設置予定



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能の向上	防災重点ため池の耐震化・洪水調節機能の強化 水田の貯留機能向上に向けた復旧・啓発 農業用ダム・ため池の事前放流	大分県			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	ため池への水位計・監視カメラの設置	大分県			

大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

■森林整備、治山対策【氾濫河川上流域における森林整備、治山対策の実施】

森林は水源涵養機能や山地災害防止機能等の公益的機能を有しており、この機能の適切な発揮に向け森林整備、治山対策を推進。



森林整備による浸透能の向上効果



治山事業の実施による流木・土砂の流出抑制効果



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	森林整備、治山整備	大分県、大分森林管理署、森林整備センター			

【森林整備センター】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

水源林造成事業による森林の整備・保全

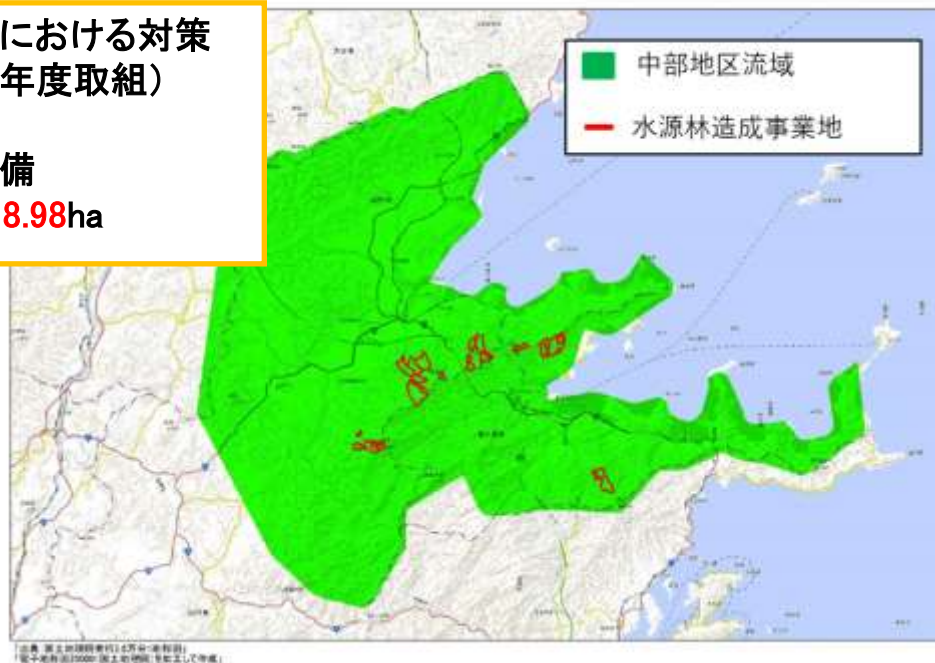
- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
 - ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- 中部地区流域における水源林造成事業地は、約19箇所（森林面積 約287ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。

中部地区流域における水源林造成事業地

■流域における対策 (令和6年度取組)

森林整備

・下刈 8.98ha



水源林の整備



針交混交林



育成複層林

森林整備実施イメージ



間伐実施前



間伐実施後

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	水源林造成事業による整備・保全	森林整備センター			

中部地区における対策内容

被害対象を減少させるための対策

【臼杵市】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

■立地適正化計画の策定（臼杵市）

○土地利用・住まい方の工夫として、立地適正化計画の策定、令和6年度公表。

防災指針

市街地居住促進区域（居住誘導区域）における地区別の防災対策を整理

- 目標●具体的な施策（短・中・長期）●効果（指標）

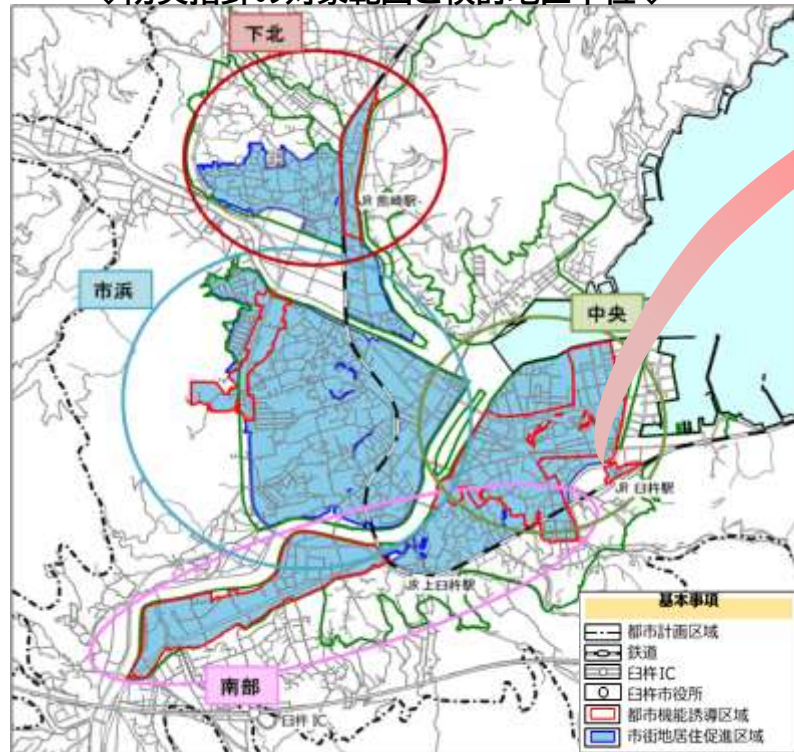
短期：公表より5年以内に着手

中期：公表より10年以内に着手

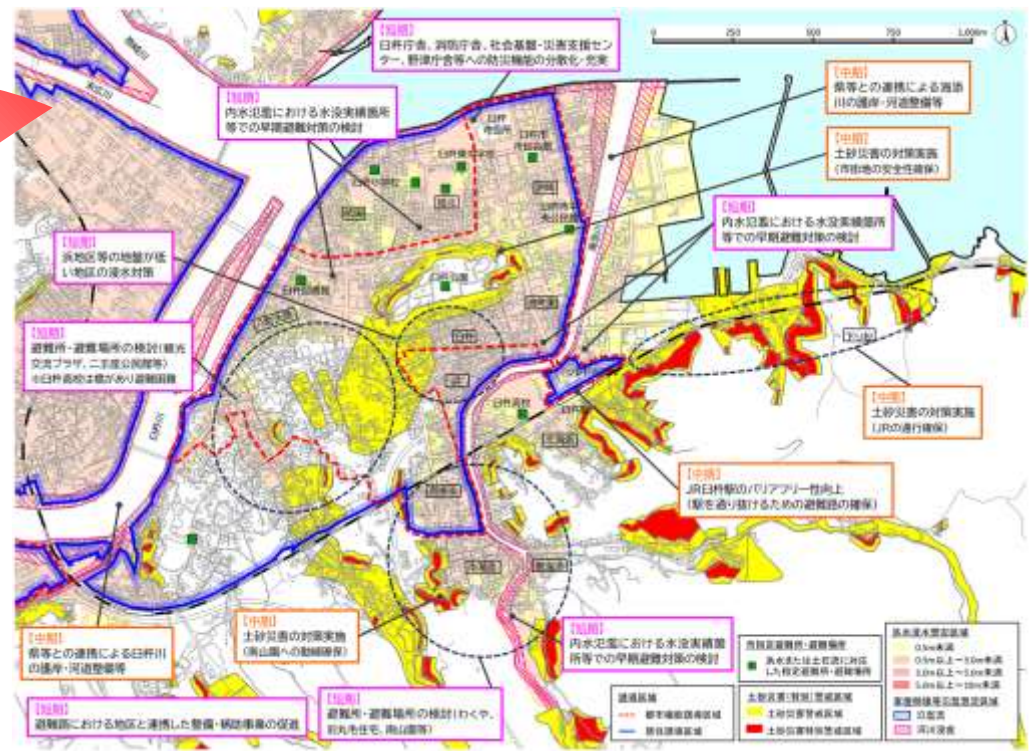
長期：公表より20年以内に着手

5年ごとに目標・効果等の分析評価
⇒進捗状況、妥当性を検証

◇防災指針の対象範囲と検討地区単位◇



【地区別施策】中央地区の（洪水・土砂災害）に関する施策



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定	臼杵市（大分県）	短期	中期	中長期

中部地区における対策内容

被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

【気象台】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

【 R6取組】

防災気象情報の理解・活用のための実践的な研修・訓練等の実施

日付	参加人数(名)	取組内容
2024/5/22	16	大分県警察学校災害担当者研修 災害警備の中核となる県下各警察署の災害担当者対象の講義
2024/5/31	40	定期的に行われている中部ネットワーク会議内で 3か月予報、線状降水帯について解説
2024/6/21	33	消防職員初任教育研修 今年度採用された消防職員対象の講義
2024/6/22	20	臼杵市佐志生防災士スキルアップ研修 防災士を対象に講義
2024/7/9	150	大分県道路舗装協会を対象に講義
2024/7/26	35	津久見市区長会を対象に講義
2024/12/25	23	臼杵市の中学校 大雨、台風、防災気象情報について講義
2025/1/18	60	臼杵市の小学校で出前講座

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期 復旧・復興のための対策	防災啓発活動	地域における気象防災業務の強化	大分地方気象台			

【気象台】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

令和6年度の取組

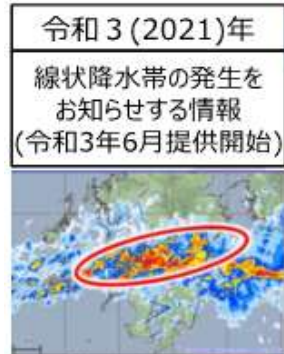
線状降水帯の予測精度向上に向けた取組(情報の改善)

観測や予測の強化の成果を順次反映し、令和4年6月より、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけを、令和5年5月より、「顕著な大雨に関する気象情報」(線状降水帯の発生をお知らせする情報)をこれまでより最大30分程度前倒して発表する運用を開始。

令和6年5月下旬からは、令和4年度から開始した半日程度前からの呼びかけを府県単位で実施。

線状降水帯による大雨の可能性をお伝え

「明るいうちから早めの避難」… 段階的に**対象地域を狭めていく**



線状降水帯の雨域を楕円で表示

令和4(2022)年～

広域で半日前から予測
(令和4年6月提供開始)

令和6(2024)年～

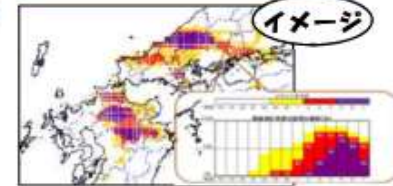
府県単位で半日前から予測

次期静止
気象衛星
(令和11年度
運用開始予定)



令和11(2029)年～

市町村単位で危険度の把握が可能な危険度分布形式の情報を半日前から提供



令和5(2023)年～

最大30分程度前倒して発表
(令和5年5月提供開始)

令和8(2026)年～

2～3時間前を目標に発表

線状降水帯の雨域を表示

「迫りくる危険から直ちに避難」… 段階的に**情報の発表を早めていく**

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災気象情報の改善	線状降水帯による豪雨に対する情報提供の改善	大分地方気象台			

【令和6年】線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ実績

府県単位での取りまとめ結果	運用開始前の想定 (2023年のデータから検証)	全国 (九州)
線状降水帯発生への呼びかけ「あり」 のうち 線状降水帯の発生「あり」	25%程度 (4回に1回程度)	適中率 約10% 8/81回中 (5/28)
線状降水帯の発生「あり」 のうち 線状降水帯発生への呼びかけ「あり」	50%程度 (2回に1回程度)	捕捉率 約38% 8/21回中 (5/8)

呼びかけを実施して、線状降水帯が発生しなかったが、
3時間100ミリ以上となったのは、27回（九州では11回）

大雨災害への心構えを一段高めていただくことが重要

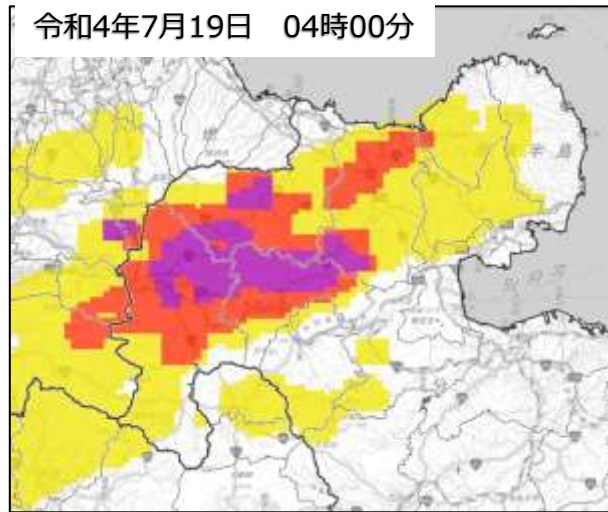
【大分県】

適中率 33% (1/3)

捕捉率100% (1/1)

キキクル(危険度分布)

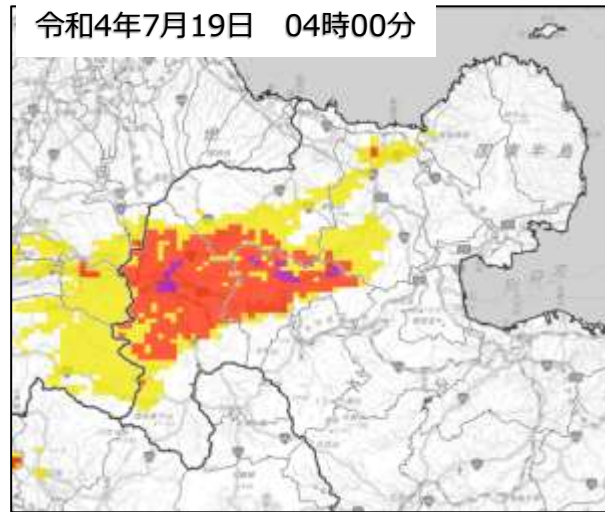
◆ 土砂キキクル



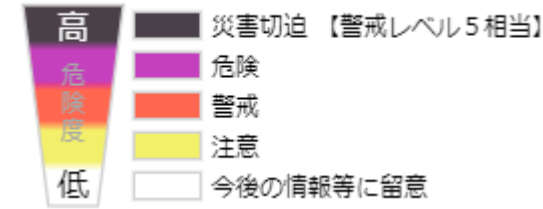
土砂災害の危険度



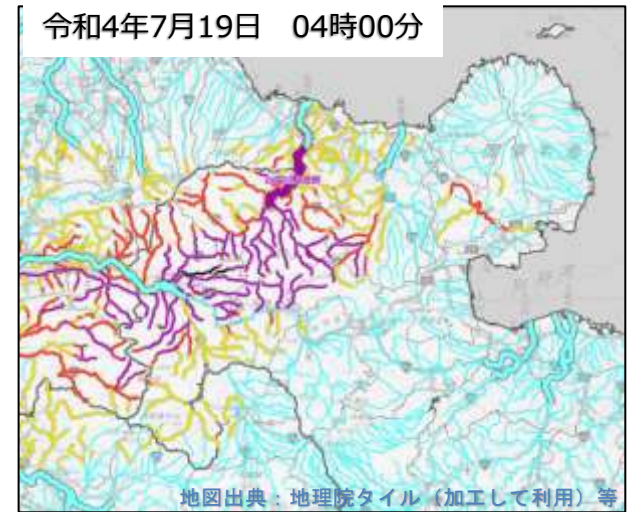
◆ 浸水キキクル



浸水害の危険度



◆ 洪水キキクル



指定河川洪水予報

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな被害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。



洪水害の危険度



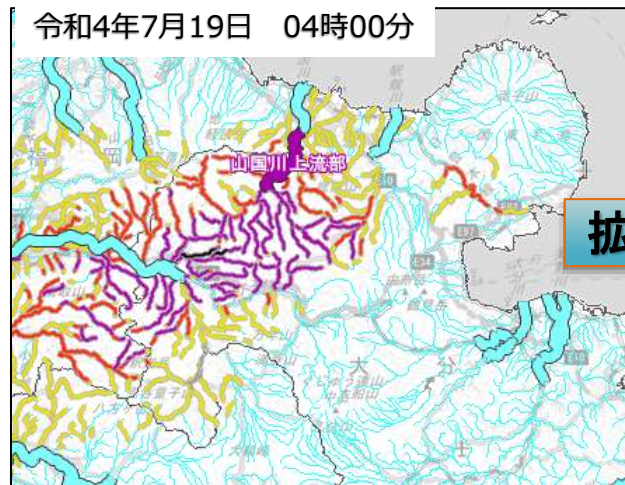
【キキクル(危険度分布)とは】

気象庁ホームページで公表されており、大雨の時に「土砂災害」「浸水害」「洪水」の危険がどこまで迫っているかを地図上に色分けして表示する危険度分布図です。ご自身がいる場所の危険度を知ること、すぐに避難するなど命を守るための行動の指針となるものです。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災気象情報の改善	線状降水帯による豪雨に対する情報提供の改善	大分地方気象台			

洪水キキクル

◆ 洪水の危険度



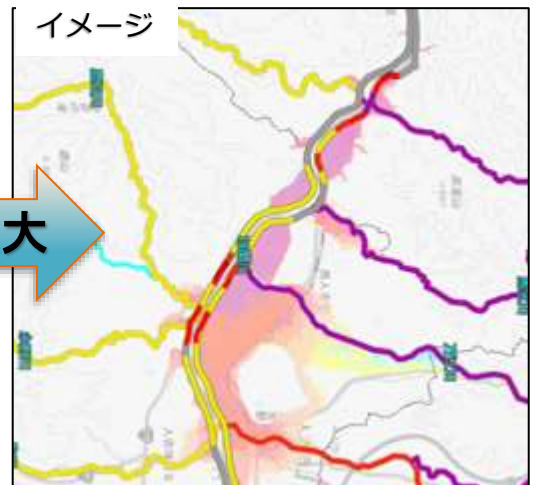
拡大

◆ 内水氾濫の危険度



拡大

◆ 水害リスクライン



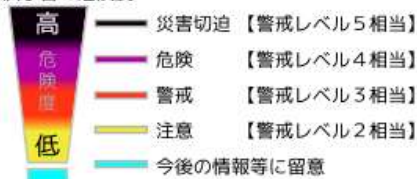
地図出典：地理院タイル（加工して利用）等

指定河川洪水予報

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな被害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。

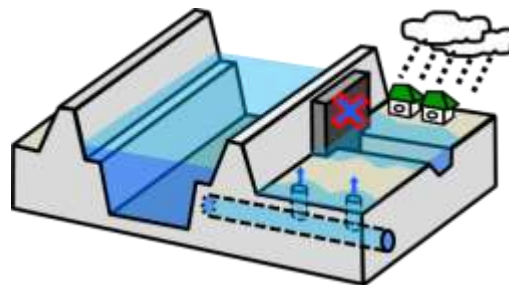
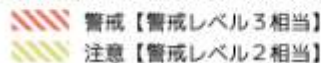


洪水害の危険度

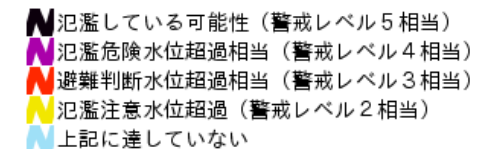


本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度

河川の増水によって周辺の支川・下水道からの排水ができなくなることで発生する内水氾濫による洪水被害のおそれがあると認められるときに発表。



国管理河川の洪水の危険度分布（水害リスクライン）



令和7年度の取組 ※令和8年出水期から開始される防災気象情報の変更準備

警戒レベル相当情報の体系整理

シンプルでわかりやすい防災気象情報の再構築に向け、防災気象情報全体の体系整理や個々の情報の見直し、受け手側の立場に立った情報への改善などをとりまとめ

【主な変更点】

「洪水に関する情報」の変更

氾濫による社会的な影響が大きい河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫を対象とし、河川ごとの情報とする。これ以外の河川の外水氾濫については、内水氾濫と併せて市町村ごとに発表する「大雨浸水に関する情報」とする。また、情報名が変更となる。（例：洪水警報⇒**氾濫警報**）

（避難）警戒レベルに準じた名称に変更

警戒レベル⑤ 【緊急安全確保】

⇒ レベル5 ○○特別警報

警戒レベル④ 【避難指示】

⇒ レベル4 ○○**危険警報**

警戒レベル③ 【高齢者等避難】

⇒ レベル3 ○○警報

警戒レベル② 【自らの避難行動を確認】

⇒ レベル2 ○○注意報

警戒レベル① 【心構えを高める】

⇒ 早期注意情報

		洪水に関する情報 「洪水危険度」	大雨浸水に関する情報 「大雨危険度」※ 1	土砂災害に関する情報 「土砂災害危険度」	高潮に関する情報 「高潮危険度」
		氾濫による社会的影響大の 河川（洪水予報河川、水位 周知河川）の外水氾濫	内水氾濫及び左記以外の 河川の外水氾濫		
発表単位		河川ごと	基本的に市町村ごと	基本的に市町村ごと	沿岸ごと又は市町村 ごと※2
警戒レベル相当情報※ 4	5 相当	レベル5 氾濫特別警報※ 3	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報※ 3
	4 相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
	3 相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災気象情報の改善	線状降水帯による豪雨に対する情報提供の改善	大分地方気象台			

【気象台】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

「防災気象情報に関する検討会」
最終とりまとめ（R6.6）より抜粋

令和7年度の取組

※令和8年出水期から開始される
防災気象情報の変更準備

「洪水に関する情報」の水位周知
河川は、当面は国管理河川を予定

※1 洪水キキクルで対象としている河川数
（準用河川や普通河川も含まれる）

※2 大雨特別警報（浸水害）のみ外水氾濫も
対象とする

洪水に関する情報					大雨浸水に関する情報
分類	洪水予報河川	水位周知河川		洪水予報河川・水位周知河川 以外の河川	
河川数	429河川	1,774河川		約20,000河川※1	—
発表主体	河川事務所または 都道府県と気象台	河川事務所または都道府県		気象台	気象台
発表単位	河川ごと	河川ごと		市町村ごと	市町村ごと
対象とする 現象	外水氾濫	外水氾濫		外水氾濫 湛水型の内水氾濫	内水氾濫による浸水 （外水氾濫による浸水※2）
発表指標	【2～4相当】 水位（実測・予測） 【5相当】 実現象（確認）	【2～4相当】 水位（実測のみ） 【5相当】 実現象（確認）		流域雨量指数 表面雨量指数 （解析・予測）	表面雨量指数 （流域雨量指数※2） （解析・予測）
情報 名称	5相当	氾濫発生情報			【5相当】大雨特別警報 （浸水害）※2
	4相当	氾濫危険情報			
	3相当	氾濫警戒情報		洪水警報	
	2 （相当）	氾濫注意情報		洪水注意情報	大雨警報（浸水害） 大雨注意情報 警戒レベル相当情報 としての位置づけなし



洪水に関する情報			大雨浸水に関する情報 （洪水予報河川・水位周知河川以外 （その他河川）の洪水に関する情報を含む）
分類	洪水予報河川	水位周知河川	
河川数	429河川	1,774河川	—
発表主体	河川事務所または 都道府県と気象台	関係機関が協力して発表	
発表単位	河川ごと	河川ごと	
対象とする 現象	外水氾濫	外水氾濫	
発表指標	【2～4相当】 水位（実測・予測） 【5相当】 実現象（確認）	【2～4相当】 水位（実測のみ） 【5相当】 実現象（確認）	
情報 名称	5相当	レベル5 氾濫特別警報	
	4相当	レベル4 氾濫危険警報	
	3相当	レベル3 氾濫警戒情報	
	2 （相当）	レベル2 氾濫注意情報	

※3 住民等に対し今後の水位の見込みを伝
える際に活用

警戒レベル相当情報に位置付けること等につ
いて、今後の課題として事務局にて関係
機関の協力も得て検討

情報名称の最終決定は、法制度や実際の情報の運用、伝え方なども踏まえ、気象庁・国土交通省が行う

令和7年度の実組

※令和8年出水期から開始される防災気象情報の変更準備

「防災気象情報に関する検討会」
最終とりまとめ（R6.6）より抜粋

気象情報（解説情報）の体系整理

◎ 情報の性質を把握できるように分類して提供

- これまでいくつかの種類の「気象情報」として伝えていた情報は、線状降水帯をはじめとした具体的な極端現象が発生または発生しつつある場合にその旨を伝える「極端な現象を速報的に伝える情報」と、現在及び今後の気象状況等を網羅的に伝える「網羅的に解説する情報」に分類して提供。
- それぞれの区別がつくよう統一的な情報名称とし、「線状降水帯」などのキーワードを付すことにより情報へのアクセスを改善。

極端な現象を速報的に伝える情報・・・「気象防災速報」

現在

- 顕著な大雨に関する気象情報
- 記録的短時間大雨情報
- 顕著な大雪に関する気象情報
- 竜巻注意情報

整理後

- 気象防災速報（線状降水帯発生）
- 気象防災速報（記録的短時間大雨）
- 気象防災速報（短時間大雪）
- 気象防災速報（竜巻注意／竜巻目撃）

網羅的に解説する情報・・・「気象解説情報」

現在

- 全般/地方/府県気象情報
- 全般台風情報

整理後

- 気象解説情報（※）
- 気象解説情報（台風第○号）

※何に注目した情報なのか分かるよう、括弧内にキーワードを付す。

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

中小河川等における避難行動支援の充実（災害の危険性の見える化）

①中小河川等洪水時ハザードマップ作成支援

- ☑頻発する豪雨災害に対応するため、洪水浸水想定区域図の作成対象を
中小河川（県管理河川）まで拡充し令和7年度までに作成

県管理
河川
585

作成対象
河川
547※

※背後に家屋等がある河川が対象
河川数は市村との協議により変更の可能性あり

- 洪水浸水想定区域図を基に市町がハザードマップを作成（R8まで）
 中小河川等洪水時避難行動支援事業を創設し作成費用を補助

【浸水想定区域図作成スケジュール】

R5年度	R6年度	R7年度
・豊後高田市	・杵築市	・佐伯市
・国東市	・臼杵市	・大分市
・別府市	・津久見市	
・日出町	・九重町	
・由布市	・日田市	
・玖珠町	・中津市	
・竹田市	・豊後大野市	
	・宇佐市	

<効果>

中小河川等での住民の避難体制を構築

②河川砂防情報システムの機能強化

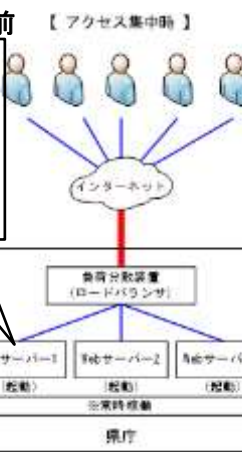
課
題

- ・豪雨時のアクセス集中時に処理能力以上のアクセスがあることによってサーバーダウンや、画面表示が遅くなることが発生
- ・県庁のシステムが故障した場合に、雨量や河川水位の情報発信ができなくなることが発生

- 外部への情報提供機能をクラウド化することによって、アクセス集中時と、県庁のシステム故障時でも雨量や河川水位の情報発信を継続

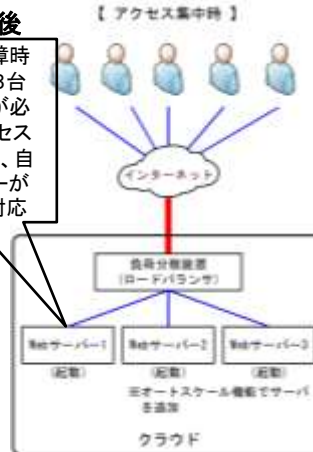
クラウド導入前

サーバーの故障や、サーバー3台の処理能力以上のアクセス集中があると情報発信に支障発生



クラウド導入後

サーバー故障時
やサーバー3台
以上で処理が必
要となるアクセス
があった場合、自
動でサーバーが
追加されて対応



＜効果＞

適切に情報発信を常時行うことによって避難行動を支援

災害の危険性に見える化により、洪水等からの逃げ遅れが無いよう、適切な避難行動を促進

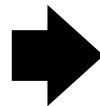
区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、 早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	中小河川等における避難行動支援の充実	大分県		     	    

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

洪水時危機管理体制強化事業（量水標の設置）

【現状と課題】

- ◆気候変動の影響に伴い頻発・激甚化する豪雨災害
- ◆R5災害では18河川で氾濫が発生、5基の水位計が欠測となった
- ◆紙媒体の河川管理資料の確認には手間と時間がかかる



- 避難情報を確実に伝達する洪水危険度の更なる見える化が必要
- 県民一人一人の自主的な避難行動に繋げるための啓発も重要
- 新しい技術を活用し、河川管理体制の強化を図る

危機管理体制の強化が急務

■量水標の設置による危険度の可視化

- ☒ 浸水被害により重大な被害を生じるおそれがある河川において、量水標を設置
☒ 河川監視カメラで水位の危険度を確認でき、避難行動の判断基準となる

[対象箇所] 河川監視カメラを設置している79か所を3年間で整備

危険度が視覚的にわかることで
迅速な避難行動
に繋がる



[現状]



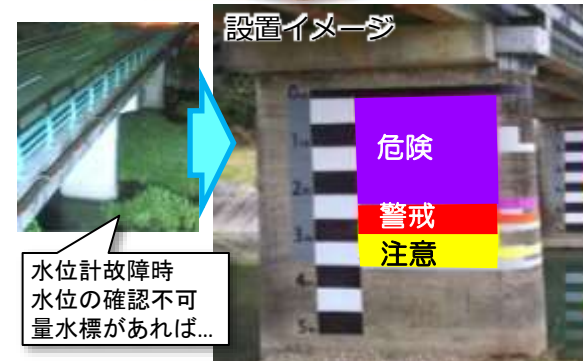
[設置後(通常時)]



〔設置後(増水時)〕

(效果)

- ・河川監視カメラや目視で水位の確認が可能
- ・平常時における周辺住民の危機意識の醸成



水位計故障時
水位の確認不可
量水標があれば...

取組方針

わかりやすい河川情報の提供により、県民の危機管理意識を醸成、水災害からの回避を図る

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、 早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	中小河川等における避難行動支援の充実	大分県		      	     

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

おおいたマイ・タイムラインシート

地域の訓練支援

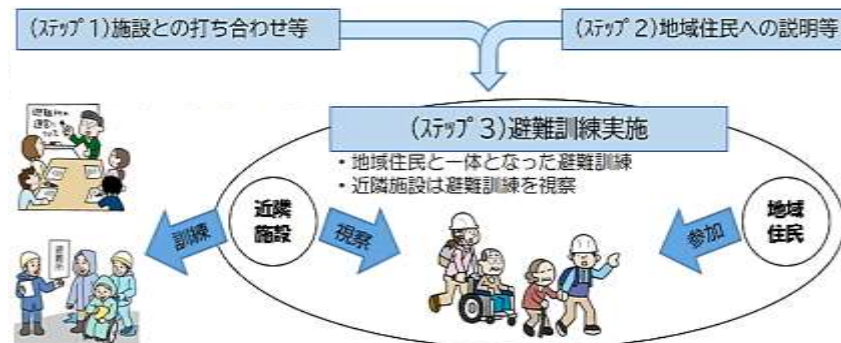
【1 避難させ隊】

・地元の団体（NPO、防災士会）、住民主体の訓練への支援
・地元NPOや防災士会、住民による「地域特性に即した防災訓練」
・地域コミュニティ主体の継続性のある「地域に根ざした防災活動」



【2 高齢者福祉施設等の避難訓練支援】

- ・地域の福祉団体との協働による避難訓練の実施
- ・各施設の実態に即した避難確保計画見直しへの助言



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	マイタイムラインの活用促進	大分県等		                       	                       

【臼杵市】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

避難体制等の強化

■アプリ、SNS等を活用した防災情報の配信

- 防災無線のデジタル化に併せて防災放送アプリ(コスモキャスト)、臼杵市登録制メール、電話応答サービスの導入。
- 避難所の混雑状況を配信する「**VACAN**」を令和3年度から活用。避難者に対して即時性のある情報配信を実現。



■防災マップの全戸配布と、市HPに掲載

- 市内の全ハザードマップ等を掲載した「臼杵市防災マップ」を全戸配布(R4.3月)。
- 令和5年度は、WEB版防災マップに英語版に加え、中国語・韓国語・フランス語を追加。



■地区タイムラインの作成

- 自主防災会ごとに地区タイムラインを作成。
訓練時にも活用して地域の命を守る取組みを推進。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期 復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	アプリ、SNS等を活用した防災情報の配信	臼杵市			

【臼杵市】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

避難体制等の強化

■防災教育の推進

市内小学校等に対し、防災について授業を行う。



小学生に興味を持ってもらうためにクイズ形式にて防災知識を深めてもらった

■ジュニア防災リーダーの育成

○毎年、教育委員会と協働してジュニア防災リーダー養成講座を実施している。令和2年度～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止していたが、令和5年度より再開。令和6年度は、12年25日(水)に実施。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	防災教育、避難訓練等の実施・支援	臼杵市			

【津久見市】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

■内水ハザードマップの作成

■公共下水道事業計画区域における内水ハザードマップを作成し公表した。(R3)

- ・内水氾濫と外水氾濫（洪水）の違いを知ってもらうとともに洪水が発生しなくても発生するおそれのある内水被害の範囲について把握してもらう。
- ・内水による浸水情報や避難方法等の情報を住民に分かりやすく提供することで、平常時からの防災意識の向上と自発的な避難の心構えを養ってもらう。

■公共下水道事業計画区域における内水対策の検討をおこなった。(R6実績)

- ・内水氾濫と外水氾濫（洪水）発生を想定し、被害の軽減等を図るための対策を検討した。



平成29年9月17日台風18号による内水被害

情報面



地図面



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	内水対策の検討	津久見市	■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■

【津久見市】大分県中部地区流域治水プロジェクト

～大分県中部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

＜＜ 避難体制等の強化 ＞＞

■個別避難計画の作成促進

津久見市では、平成23年度から要援護者支援制度(お守りキット)を導入し、2,300人超の登録があるため、当該情報を個別避難計画として活用することで作成促進を図る。(統合)
併せて同情報により津久見市独自のタイムラインを作成し、個別避難計画作成者及び支援者等と共有する。

■総合防災マップ・WEB版防災マップの活用

これまで災害区分ごとに作成していたハザードマップ(「土砂災害」「津波」「高潮」「洪水」)を統合した総合防災マップを作成し全戸配布する。また、WEB版防災マップにアクセスできる二次元コードが記載された表示板を市内の主要箇所に設置する。市内の方はもとより市外からの来場者に対しても、二次元コードの読み取ること
で避難場所や避難経路等が簡単に確認できるように公共施設や商業施設、地区等に設置する。

■自主防災組織と防災士会の連携強化

防災士会の組織強化により、これまで曖昧であった各地区における防災士の役割等を明確にするとともに研修・訓練の拡充によりスキルアップを図り、地域防災力の向上を促進する。

■防災教育の充実(出前講座の開催)

各行政区や各種団体等での出前講座を充実させ、避難所の運営方法や、防災活動・啓発等の周知を図る中で地域や自主防災組織、防災士等との連携などの話を盛り込み、避難意識・防災意識の更なる向上に努める。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	防災教育、避難訓練等の実施・支援	津久見市			